

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念である『その人らしい尊厳ある暮らし』の実現に向け、職員一人ひとりが日々のケアについて実践と振り返りを重ねる必要がある。	入居者一人ひとりの思いや意向を捉え、理念の実践に向けた支援を行なう。	職員は入居者へのケアについての自己点検シートを活用し、点検・振り返りを管理者と共に行なう。また、施設長・管理者は職員に対して、能力に応じた内部・外部研修の実施を通じケアの質の向上を図る。	12ヶ月
2	49	入居者の高齢化と心身機能低下のため、外出の機会が減少している。	入居者全体的での画一的な外出は困難な為、個々の機能や希望を正確に把握したうえで、近隣の社会資源を活用しながら、可能な形で外出の機会を増やす。	職員は、入居者のニーズや機能について、カンファレンスやミーティングを通じて情報を共有した上で、臨機応変に近隣への外出やドライブ等ができるよう予め計画しておく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。